

活動レポート

日本技術士会北海道本部

青年技術士交流委員会

文責：青年技術士交流委員会 鎌足 俊輔

青年技術士支援委員会 拡大委員会

下記の内容にて、青年技術士支援委員会 拡大委員会に北海道本部青年技術士交流委員会から 5 名（参加者：平岡、杉本、長内、六浦、鎌足）で参加してきました。

- ◆開催日時：令和 5 年 6 月 17 日(土)
13:30～20:00(拡大委員会、交流会)
令和 5 年 6 月 18 日(日)
09:00～14:00(テクノツアー、懇親会)
- ◆開催形式：会議、交流会およびテクノツアー
- ◆開催場所：機械振興会館および東京タワー
- ◆開催方法：対面形式
以下にその内容をご報告します。

1. 拡大委員会議事(6 月 17 日)

拡大委員会では、青年技術士支援委員会 統括本部委員および各地域本部 委員長が出席し、2022 年度の活動報告および 2023 年度予算の審議、青年技術士支援委員会の要領改正についての審議がなされ、賛成多数により可決されました。また、統括本部の河野委員長が任期満了で退任し、後任に村上委員が就任することが報告されました。



写真-1 拡大委員会 議事進行中

2. 交流会(6 月 17 日)

出席者全員によるフラッシュ自己紹介(10 秒/人)の後、北海道・東北・北陸・中部・近畿・中国・四国・九州の各本部から、2022 年度の活動報告および 2023 年度の活動方針について報告がありました。学校への出張授業や地域活性化活動など、各本部の地域に根差した活動が報告されました。

北海道本部は杉本副委員長から、小学校への出前授業や、紀伊国屋書店で開催されたビブリオバトル、札幌コンサートホール Kitara の設計者を講師に招いたテクニカルツアーなどについての報告を行いました。

その後に、出席者全員参加で、立食形式の懇親会が開催されました。交流会では、アイスブレイクも兼ねて各本部から持ち寄られた、地域自慢の酒とおつまみが振舞われ、出席者は「利き酒・利きおつまみ」で大いに盛り上がりました。全国から参加した若手エンジニアは約 40 名、技術部門は 15 部門と多岐にわたり、参加者同士で交流を深めることにより大きな刺激を受けることができました。



写真-2 北海道本部杉本副委員長からの活動報告

3. テクノツアー(6月18日)

東京タワーの概要を始めとして、歴史・設計・建設時の課題および逸話・維持管理などを統括本部の吉浦副委員長、村上委員、後藤委員から講義を受けた後、東京タワー展望台まで外階段(600段)で登り、現場を視察しました。

講義にて、東京タワー建設時の施工方法(リベット)や歴史、維持管理(塗装)について学んだ後に、実際に東京タワー外階段を歩きながら、自らの目で実物を確認することで、エンジニアとして重要な三現主義(現場・現物・現実)の思想について、改めて学ぶことができました。

また、東京タワー外階段からは展望台に水を供給する配管等も見学することができました。筆者は化学メーカーに勤務しており、東京タワーとは技術的に縁遠いものと思っておりましたが、流体のハンドリングという点で配管技術は化学プラントの設計とも共通するという気づきを得ることができ、自己の技術力向上へのモチベーションとなりました。



写真-3 村上委員から東京タワーについての講義



写真-4 東京タワー外階段を登り始める参加者

4. おわりに

「タイパ(タイムパフォーマンス)」が注目される昨今、全国の若手エンジニアと交流するために、時間とお金をかけてわざわざ東京まで行く必要があるか、また、異分野・異業界のエンジニアと交流することにどのようなメリットがあるのか、議論があると思います。

しかし、私は今回の拡大委員会で全国から集まった若手エンジニアとの交流を通して、多様な考え方に触れ、多くの気づきを得ることができました。その気づきを自分の成長にどう活かすかを考え、脳の汗を流すことこそが、遠回りに見えますが、最高の「タイパ」ではないでしょうか。

私は、これからも全国のエンジニアの皆様との交流を続けていくつもりです。

まだ全国規模のイベントに参加されたことがない方は、ぜひとも参加を検討いただきたいと考えております。



写真-5 拡大委員会参加者の集合写真



写真-6 テクノツアー後の懇親会での集合写真